

## 農業用ドローンの研修会（農業科1年～3年、食品技術科1年）

11月8日（火）、10日（木）、11日（金）に、無人機開発製造、飛行支援の会社「株式会社ジーウイング（神栖市）」の協力のもと、農業用ドローンの研修会を実施しました。農業科1年生～3年生、食品技術科1年生を対象にして、実施日を分散して行いました。

はじめに、開発・製造の担当者の方から、ドローンの構造や搭載されているセンサーなどについて説明がありました。その後、農薬散布の実演として、操縦士の方が、タンクに水を入れたドローン进行操作して、飛行しながら水を噴霧しました。また、希望者が小型ドローンを使って操作を体験しました。

生徒や教員から「何分くらい飛行できるのか」「機体の金額はいくらか」「1ヘクタールの散布で何分くらいかかるか」「稲作以外の導入は進んでいるか」などの質問が出されました。

生徒は、「ドローンは導入コストが高い」「高齢化の進む農業では、ドローンによる農作業の効率化は必要」「導入コスト、操縦資格の取得、稼働日数などが課題であること」などを理解したようでした。

農業を学ぶ生徒たちが、最新の農業に触れることは非常に大切だと思います。今回、協力をいただいた「株式会社ジーウイング」の方々に感謝を申し上げます。

食品技術科1年 ドローンの説明(11/8)



食品技術科1年 生徒の操作(11/8)



農業科1年・2年 ドローンの説明(11/10)



飛行しているドローン(11/10)



ドローンの見学（水を散布）(11/10)



小型ドローン进行操作する生徒(11/10)



ドローン